須木尊塾

H28.12.20(火)

先日「小さな親切」に出会いました。私が車で道路を右折しようとしていた時、なかなか車の流れがきれずやっと進めると思ったら、今度は左から車がつながって左がきれたと思ったら、今度は右から……。さきほどいつになったら右折できるやらと困りはてた頃、左から走ってきた大型トラックの方が、ゆっくりスピードを落としてくれて、そのおかげでようやく右折できました。思わず嬉しくてパッシングで感謝の気持ちを伝えました。師走で何かとあわただしい今日この頃ですが、そんな時だからこそ、反対車線の状況を確認して道を譲ってくれる!!車高も高くって見えやすいのかもしれませんが、ホンの気持ちゆとりをもって運転するって大切なことかもしれませんね!!

収穫に感謝!!

十二月四日(日)は雨が気になる中、ロードレース大会を実施し、その後、小中学校合同でもちつき大会を行いました。今年は量も多く質も良いとのこと。同事に六つの臼でつき始めました。もちろん、力持ちのお父さんたちや男子、駐在所の櫻田さんも杵を降ろしておろして元気いっぱい!!あっという間においしそうな餅がつけました。そこからは、高齢者クラブのご婦人方の出番です。上手にあっあっのお餅をちぎっていきます。後はおいしそうに丸めるだけ!!あんこを入れたりきなこをまぶしたり。今年はだいこんおろしもあり、小学生から大人まで、出来立てのおいしいお餅をお腹いっぱい食べました。当日をむかえるにあたって田んぼの手入れや、蕎麦の準備など、多くの方のお手伝いのおかげです。保護者の皆様もありがとうございました。

お正月を迎える準備ができました

十二月十六日(金)に高齢者クラブの皆様をお招きして全員で「しめ縄づくり」を行いました。ひつは縄があるように事前にわらを準備された状態から始めるのですが、この体験は特別です。まずは、そのままのわらを昔から使っている機械足で踏んで回転させる)でよけいな部分を取りのぞき、芯だけを残すところからでした。年気の入った「センバコギ」にビックリ!!その後は、水にひたして編みやすくする作業に挑戦!!その時使った道具にもビックリ!!いやはや、ご先祖様の知恵はすごい!!今年は、職員も全員参加しました。実は私も初体験!!

まあ、私のしめ縄のへたくそな事!!それに比べ諸先輩方の上手な事!!子どもたちの中にも上手な子がいましたねぇ!!やっぱり体験って大切ですね!!

十二月十八日(日)には、三年生と保護者を中心に門松を作りました。副会長の平野さんに材料を準備していただき、竹を割ったり、シラスを盛ったり、時間があっという間で、竹箸にも挑戦しました。三年生の合格祈願の意味も兼ねていたので、力うどんを食べたり、お守りを作ったり。やっぱり一緒に「同じ釜の飯を食べる」って、なかなか団結感を感じました。受験は団体戦!!です。全員合格を目指して頑張りましょう!!

ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます♡

法務省から表彰されました

先日、都城の方から法務局の方がお見えになって直接学校賞をいただきました。今年は都城、西諸で三校のみだったそうです。この賞は、永年に渡り、人権教育に貢献した学校にのみいただけるそうです。これまでの取組が認められるって嬉しいです。人権意識は日常の積みかさねです。これからも心豊かな子どもたちの育成に取り組んでいきます。

「赤い羽根募金活動」と、「年賀状」づくり

十二月といえば募金活動があります。毎年、生徒会の呼びかけで行っています。今年は、五千六百十六円集まりました。さっそく須木の社会福祉協議会に届けました。子どもたちの思いがお役にたてば嬉しいです。

十二月十二日(月)に、お年寄りの方に、年賀状を書かせていただきました。生徒数の関係で全員には、お届けできませんが、心込めて書きました。読んでいただけると幸いです♡

最近は、メールなどですませることもしばしば。年賀状って大切な文化かもしれませんね。

P.S 今回は、租税教育で、銅賞を受賞した、中間大洋さんと石橋美紗さんの作文を紹介します。

最後になりましたが、今年一年学校運営に対して多大なる御理解、御支援をいただき、感謝申し上げます。来年もどうぞよろしくお願いいたします。

必要不可欠な税

須木中学校　三年　中間　大洋

僕が「税」という言葉を聞いたことは、消費税や所得税しかありませんでした。しかし、租税教室を通して「税」について学ぶことで、「税」への関心が高まり、多くのことを学ぶことができました。このようにも僕が関心を強く抱いたように、税とは、一つ目は、教育費についてです。教育費は、僕たち中学生にとって最も身近な税の使われ方です。中学生一人あたり、一年間で約九十八万四千四百円もの大金を国が負担してくれています。教育費だけで国の歳入の六パーセントもかかっているのです。僕たちが毎日、学校で楽しく過ごせているのも、税があるからこそです。僕たちが毎日、学校でたのしく過ごせていたのも、税があるからこそです。

二つ目は、消費税についてです。現在の消費税は八パーセントですが、近年、八パーセントに引き上げられるというニュースをよく耳にします。

一つ目は、教育費についてです。教育費は、

須木中学校　三年　石橋　美沙

私は、これまで税について あまり考えたことがありませんでした。つまり私にとって税とは関係のないものだと思っていました。しかし、租税教室を受け、様々な講演を聞いたり、私たちの暮らしに必要不可欠なものだということを知りました。

私は、まず義務教育と税が深い関係にあることを知りました。中学校は義務教育だから学校に行くお金は必要ないと思っていました。しかし、私たちが無償で教育を受けることができるのは、税のおかげだということになります。

私たちの暮らしは、税のおかげで成り立っていることを知りました。

私たちの暮らしに欠かせない税。

私たちの暮らしに欠かせない税。

須木中学校　三年　中間　大洋

僕が「税」という言葉を聞いたことは、消費税や所得税しかありませんでした。しかし、租税教室を通して「税」について学ぶことで、「税」への関心が高まり、多くのことを学ぶことができました。このように、僕が関心を強く抱いたように、税とは、一つ目は、教育費についてです。教育費は、僕たち中学生にとって最も身近な税の使われ方です。中学生一人あたり、一年間で約九十八万四千四百円もの大金を国が負担してくれています。教育費だけで国の歳入の六パーセントもかかっているのです。僕たちが毎日、学校で楽しく過ごせているのも、税があるからこそです。

二つ目は、消費税についてです。現在の消費税は八パーセントですが、近年、八パーセントに引き上げられるというニュースをよく耳にします。

にしました。日本は、スウェーデンなどの外国にくらべると、消費税は低い方です。法人税に関する意見もありますが、僕は消費税を上げるべきだと思います。なぜなら、現在の日本の歳入で最も割合が大きいものは公債費だからです。公債費は、国の借金です。僕たちが何不自由なく暮らすためには、たくさんの税が必要となります。公債費が増えているということは、現在の日本を支えるための税が不足しているということです。さらに、日本は少子高齢化が深刻な問題となっています。今以上に税による負担が増えていくことになります。僕は、これまで税によって支えられた生活をしてきました。だからこそ、これからの日本は僕たち若い世代が支えていかなければなりません。消費税増税によって、税の負担が増えることになります。日本を支えていくためには必要なことだと思います。

租税教室を通して、税は僕たちの生活に必要不可欠なものだと気付きました。もしも、

私たちが税に支えられて暮らしているからだとあらためて考えました。

とても驚きました。毎日、私が当たり前に扱う米を受けて、当たり前に友達と遊べるのは、

私たちが税に支えられて暮らしているからだとあらためて考えました。

また、教育以外にも、私たちが病気やけがをしたときに行く病院の医療費の一部を負担してくれているのも税です。私の母は、病院で働いています。毎日たくさんの方々が病院を利用しているという話を聞きました。現在は、以前と比べて医療施設や医療機器が発達しました。だから、たくさんの人々が利用し、健康に生活することができています。私たちが負担に診察でき、健康な生活が送れるのもすべて税のおかげなのです。

このように、税について考えてみると、私たちの暮らしは、多くの税で支えられています。

税とは、全ての人々が幸せな生活を送ることができないと思います。だからこそ、税を納めることはとても大切なことなのだと学ぶことができました。

将来は、私たちがしっかりと税を納めて、日本を支えていける存在になりたいと思います。

ように、全ての人々が幸せな生活を送ることができないと思います。だからこそ、税を納めることはとても大切なことなのだと学ぶことができました。

将来は、私たちがしっかりと税を納めて、日本を支えていける存在になりたいと思います。

ものは、僕の両親や日本中の方々が納めています。税をしっかりと納めていない方々がいるからこそ、僕たちは不自由なく暮らしていけるのだと思います。学校に行けるのも、病院に行けるのも、僕たちの生活の大半が税によって補われています。だから、僕は学校でいろいろなことを学び、社会に出て僕も納める立場になり、しっかりと納税したいと思います。税に感謝して生活していきたいです。

文字が少さくて読みづらいと思います。
申し訳ありません。年度末に改めて紹介させていただきます。2人の作品は県で金賞をいただき小林市文化会館に展示されていました。